

## 目標1 健康づくり(介護予防)と社会参加の推進

### (1)多様な健康づくりの推進

事業名	中央粋なまちトレーニングの普及	所管課	高齢者福祉課	
事業目的 事業内容	転倒予防や認知機能の向上などの効果が見込まれる介護予防プログラム「中央粋なまちトレーニング(略称:粋トレ)」の普及により、多くの高齢者が身近な場所で自主的に継続して健康づくりを実施し、その効果を実感できるようにしていきます。			
令和3年度 事業目標 (目標値)	実施者の拡大			
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施団体数 44団体</li> <li>・自宅参加者数(DVD配布枚数) 93人</li> <li>・ホームページアクセス(閲覧)数 4,387件</li> </ul> <p>【内容】</p> <p>引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止による活動自粛の影響を受け、活動の場は令和2年度から1か所増えたものの、44か所にとどまりました。そのため昨年度好評だった、希望者にDVDを配布し、自宅で介護予防プログラムに取り組んでもらう「自宅で粋トレ」事業を実施し、フレイル予防に努めました。</p>			
目標達成度 (4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない
評価の理由	実施団体数は伸び悩んだものの、「自宅で粋トレ」を実施し、フレイル予防に努めたため。			
今後の課題	プログラムを区民に広く周知し、継続した健康づくりを一層推進していくとともに、専門機関と連携した効果検証なども行うほか、外出自粛時の区民の健康づくり(介護予防)に向けて、さらなる取組を実施していく必要があります。			
対応策	高齢者通いの場や高齢者クラブ等の地域の身近な場所においてボランティアを中心とした普及を図っていくほか、いきいき館においても引き続き普及活動を実施していきます。また、理学療法士等の地域のリハビリ専門職から技術的な助言を受けながら、令和3年度中に実施できなかった体力測定やアンケートを通じて実施効果を検証していきます。さらに、外出自粛時の取組としてDVD、区ホームページ、YouTube等を利用して個人単位や自宅等で気軽に継続した健康づくりが行えるよう周知を強化するとともに、継続して取り組んでもらえるように、各イベント参加者用にノベルティを作成し、参加者のモチベーションの向上に役立てていきます。			
添付資料	中央粋なまちトレーニング 小冊子 「自宅で粋トレ」チラシ			

(2)健康管理と介護予防の支援

事業名	高齢者通いの場支援事業			所管課	高齢者福祉課
事業目的 事業内容	「高齢者通いの場」の運営や活動内容の充実に向けた支援を行い、新規開設団体の拡大を目指していきます。また、参加者の介護予防・フレイル予防の促進を図り、交流しながら健康づくり(介護予防)が行えるプログラムの支援・普及を行っていきます。				
令和3年度 事業目標 (目標値)	充実				
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規開設団体数 1団体</li> <li>・延べ参加者数 3,623人</li> <li>・保健師の健康相談実施状況 26回 53人</li> </ul> <p>【内容】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、新規登録団体は1団体にとどまりました。既存団体については、運営者等の交流会を開催して意見交換を行うとともに、研修会を3回行い、運営に対するスキルアップ及び各団体同士の連携強化を図りました。また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業に向け、区保健師による健康相談を開始し、高齢者の健康づくり、フレイル予防に努めました。</p>				
目標達成度 (4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない	
評価の理由	延べ参加者数(3,623人)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、大きく落ち込んだ令和2年度(929人)から大幅に増えたものの、新規開設団体が1団体にとどまったため。				
今後の課題	引き続き感染防止対策を徹底しながら、閉じこもりがちな高齢者の参加を促し、高齢者の孤立防止、生きがいづくりにつなげていく必要があります。				
対応策	身近な場所で気軽に参加できる通いの場を増やしていくために、生活支援コーディネーター等と連携し、高齢者の健康づくりを行う担い手の育成や発掘を行い、新規団体の立ち上げの呼びかけなどを行っていきます。さらに、マンション内の集会室の活用や民間事業者等の地域貢献事業など、多面的な取組により、参加者の拡大と新たな通いの場の立ち上げを促進し、高齢者が互いに支えあう地域づくりを推進していきます。また、新規登録団体には区保健師を派遣し、感染防止対策の徹底を図っていきます。				
添付資料	中央区高齢者通いの場マップ				

(3) 社会参加・生きがいの促進

事業名	「退職後の生き方塾」の開催および活動支援			所管課	高齢者福祉課
事業目的 事業内容	退職後に地域活動へ参加する意欲があっても社会的な活動に結びついていない中高年齢者に対し、退職後の生き方のヒントや、地域活動に参加するきっかけを提供するための講座を開催し、受講修了者が地域でのサークル活動やサロンの運営などができるよう支援していきます。				
令和3年度 事業目標 (目標値)	活動支援				
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の取組状況 令和2年度に開催した第2回講座修了者へアドバイザー派遣 5回</li> <li>・講座修了後の活動状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回講座修了者自主グループ「朗楽のつどい」 担当者による自由発表、懇談会 (2~3カ月に1回程度オンラインで実施)</li> <li>第2回講座修了者自主グループ「粋な生き方2021」の結成</li> </ul> </li> </ul> <p>アドバイザー派遣を通じグループでの地域活動に向け、協議</p> <p>【内容】</p> <p>令和2年度に開催した「第2回退職後の生き方塾」から自主グループ「粋な生き方2021」が立ち上がりました。</p>				
目標達成度 (4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない	
評価の理由	第1回、第2回とも講座修了者の自主グループは立ち上がったものの、地域活動等にはつながっていないため。				
今後の課題	受講修了者が地域でのサークル活動やサロンの運営など地域の担い手となり、社会活動の場や機会を拡大していくことができるように、支援していく必要があります。				
対応策	退職前後の年齢層を対象に、地域に関心を持ち、社会的な活動に結びつけるきっかけを提供する講座(「退職後の生き方塾」)を引き続き開催し、受講者が講座修了後の活動につながるよう支援していきます。また、受講者による既存の自主グループが継続的に活動し、地域への関心を高めながら、社会的な活動が行えるよう支援していきます。				

(3)社会参加・生きがいづくりの促進

事業名	セカンドライフ応援セミナー	所管課	高齢者福祉課														
事業目的 事業内容	中高年齢者が主体的に社会に参加し、生きがいを持って生活するきっかけとなるよう、ボランティア活動や就労支援事業を紹介し、参考指標の拡大につながるセミナーを開催していきます。プログラムについてはアンケートを参考に、ニーズを踏まえた内容で開催していきます。																
令和3年度 事業目標 (目標値)	開催																
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さわやか体操リーダー登録者数 28人</li> <li>・元気応援サポーター登録者数 24人</li> <li>・元気高齢者人材バンク登録者数 17人</li> <li>・参加者アンケート</li> </ul> <p>Q 今回のセミナーの満足度を教えてください</p> <div style="text-align: center;"> <p>満足度</p> <table border="1"> <caption>満足度調査結果</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>16%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>未回答</td> <td>16%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>・高齢者通いの場支援団体登録数 17団体、延スタッフ数 1,040人</p> <p>【内容】 おおむね40歳以上の方を対象に、ボランティア活動や就労支援事業などを生きがいづくりとなる様々な事業を紹介するセカンドライフ応援セミナー「生きがいデザインセミナー」を開催し、37名の参加がありました。</p>			満足度	割合	満足	40%	やや満足	25%	普通	16%	やや不満	3%	不満	0%	未回答	16%
満足度	割合																
満足	40%																
やや満足	25%																
普通	16%																
やや不満	3%																
不満	0%																
未回答	16%																
目標達成度 (4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない													
評価の理由	セミナーには37名の参加があり、参加者アンケートの結果もおおむね好評だったため。																
今後の課題	高齢になっても健康で活動的であり続けるために、高齢期を迎える以前から地域活動等の生きがいを持てるよう、セミナーを通じて引き続き支援していく必要があります。																
対応策	多くの方に参加してもらえる魅力的な内容のセミナーづくりを行い、ボランティアや就労等の活動を通じて地域や社会に参加し、孤立せず生きがいを持って生活できるよう支援していきます。																
添付資料	生きがいデザインセミナー(セカンドライフ応援セミナー) 開催チラシ																

## 目標2 互いに支え合う地域づくりの推進

### (1)相談・支援体制の充実

事業名	晴海おとしより相談センター(仮称)の整備		所管課	介護保険課
事業目的・内容	身近な場所で相談しやすい体制を整えるために、月島、勝どき(分室)に加えて、晴海地区に新たに分室の設置に向けた準備を進めます。令和6年度開設(予定)。これにより区内の身近な地域に相談支援の核となる拠点が整備されます。			
令和3年度事業目標(目標値)	工事準備			
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】 晴海おとしより相談センター(仮称)が設置される晴海特別出張所等複合施設の工事契約及び工事着手</p> <p>【内容】 適切かつ円滑に晴海おとしより相談センター(仮称)の開設準備を行うことができるよう、晴海地域を担当している月島おとしより相談センターとの情報共有を行うとともに、複合施設の各主管課等関係各所との調整をしました。</p>			
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない
評価の理由	晴海地域を担当している月島おとしより相談センターとの情報共有を行い、関係各所との会議に出席し状況把握のうえ、随時必要な調整を行ったため。			
今後の課題	開設に向けて、月島・勝どきおとしより相談センターとの分担の調整等連携を図る必要があります。			
対応策	情報共有や相談体制を整備するため、月島おとしより相談センターと定期的に連絡会を行います。			

(2)安心・見守り体制の拡充

事業名	「地域見守り活動団体(あんしん協力員会)による見守り活動」および「協定締結事業者による見守り活動」の拡充		所管課	介護保険課
事業目的・内容	町会・自治会・マンション管理組合などを単位として組織された団体が、一人暮らし高齢者や高齢者のみで構成された世帯を月1回以上訪問し安否確認を行うことにより、事故の未然防止や早期に異変に気づくことができる支援体制づくりを推進していきます。また、事業者との協定締結を推進し、おとしより相談センターを中心とする地域見守りネットワークの輪を拡大していくことにより、一人暮らし高齢者などが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにしていきます。そこで、「区のおしらせ」「こんにちは、町会です」への記事掲載や町会、マンション管理セミナーでの事業説明などの広報活動を行います。			
令和3年度事業目標(目標値)	地域見守り活動団体数 27団体 協定締結事業者数 22事業者			
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域見守り活動団体数 26団体</li> <li>・協定締結事業者数 24事業者</li> <li>・見守り対象者数 811人</li> <li>・あんしん協力員数 215人</li> </ul> <p>【内容】</p> <p>地域見守り活動団体については団体数は変わらないものの見守り対象者数が690人から811人に、協定締結事業者については新規に3事業者と見守り協定を締結し24事業者となりました。中央区都市整備公社が令和3年5月に発行した中央区分譲マンション管理情報誌「マンションライフ」に地域見守り活動団体の募集記事を掲載しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、地域見守り活動団体の交流会を中止しました。</p>			
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない
評価の理由	地域見守り活動団体数は目標値に及ばなかったものの、協定締結事業者数は目標値を達成したため。			
今後の課題	町会・自治会・マンション管理組合を単位として組織された団体による見守りは、協力員の高齢化等に対応するため、新たな担い手の確保および見守りの方法の工夫が必要となっています。			
対応策	地域見守り活動団体を増やすために、おとしより相談センターと連携し、地域ケア会議や講座等において事業の周知に努めるとともに、交流会の開催を通じて、他団体の好事例の共有等によりあんしん協力員の確保に向けて支援を行っていきます。			
添付資料	地域見守り事業の実施団体一覧 「高齢者の見守り活動に関する協定書」締結事業者一覧			

(3)住民同士で支え合う生活支援サービスの充実

事業名	生活支援コーディネーターによる取組の充実、地域支えあいづくり協議体・支えあいのまちづくり協議体の活用(住民参加による支え合いの体制づくり)			所管課	高齢者福祉課
事業目的・内容	京橋・日本橋・月島の3つの生活圏域ごとの生活支援サービス体制等を充実させ、地域のニーズ・課題を把握します。また、既存の地域資源に対するネットワークを強化させ、地域の特性をいかした資源開発や担い手の育成を行い、必要とされる生活支援・介護予防サービスにつないでいくなど、課題の解決につながる地域体制づくりを充実させていきます。				
令和3年度事業目標(目標値)	充実				
事業実績 実施内容 取組の成果	<p><b>【実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援コーディネーター活動状況(地域支援件数等) 個別支援 1,147回 地域支援 1,612回</li> <li>地域支えあいづくり協議体・支えあいのまちづくり協議体の開催回数、活動状況 地域支えあいづくり協議体 2回 支えあいのまちづくり協議体 京橋5回 日本橋4回 月島4回</li> <li>おとなりカフェ・ちょこっと相談会開催回数 118回</li> <li>地域の担い手養成講座(居場所づくり講座等)の開催回数、参加者数 開催回数2回(延6回) 参加者数16人(延44人)</li> </ul> <p><b>【内容】</b> 日常生活圏域に1名ずつ生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活支援に関するニーズの把握に努め、地域活動団体の支援や担い手の育成等を行うほか、第2層協議体「支えあいのまちづくり協議体」を立ち上げ、勉強会を各日常生活圏域で開催しました。また、区全体の第1層協議体「地域支えあいづくり協議体」を開催し、地域課題の把握と関係団体の連携強化・情報共有を図りました。</p>				
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない	
評価の理由	第1層協議体の開催(2回)に加え、第2層協議体も複数回開催し、問題点や地域の持つ資源等を協議したことにより地域課題の把握と情報共有等を行うことができたため。				
今後の課題	地域の特性を活かした資源開発や担い手の育成をさらに進め、必要な生活支援・介護予防サービスにつないでいくなど課題の解決につながる地域体制づくりを充実させていく必要があります。				
対応策	日常生活圏域ごとに生活支援コーディネーターを配置したことにより、地域課題や既存の地域資源に関する情報・人的ネットワークをさらに強化していきます。また、区全体の第1層協議体および日常生活圏域ごとの第2層協議体を核として地域ごとの課題解決に向けた取組を行っていき、さらに第2層協議体同士のつながりについても支援していきます。				

(4) 避難行動要支援者対策の推進

事業名	避難行動要支援者支援体制の整備			所管課	高齢者福祉課
事業目的・内容	災害時に自力で避難したり生活することが困難な方を登録した「災害時地域たすけあい名簿」を作成しています。その名簿を活用した安否確認訓練を防災拠点や町会・自治会において実施するとともに、名簿を活用した体制づくりの取組を希望するマンション管理組合を支援するなど、参考指標を踏まえながら、地域での災害時の支援体制を構築していきます。				
令和3年度事業目標(目標値)	<支援体制づくりの取組団体>増加				
事業実績 実施内容 取組の成果	<p><b>【実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災拠点の安否確認訓練実施拠点数、実施状況 1拠点(中央小学校防災拠点にて令和3年12月19日実施。参加者:防災拠点関係者21人、安否確認対象者48人)</li> <li>・マンション管理組合等の名簿提供数 4管理組合</li> </ul> <p><b>【内容】</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、安否確認訓練は1拠点でしか実施できなかったものの、令和3年度から開始した災害時地域たすけあい名簿のマンション管理組合等への提供に向けて11月にワークショップを実施し、4つのマンション管理組合との協定締結および名簿提供につなげることができました。</p>				
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない	
評価の理由	防災拠点での安否確認訓練は、時期の検討や感染防止対策を徹底し、1拠点で実施できたことに加えて、マンション管理組合への名簿提供は開始初年度に4組合へ配布することができたため。				
今後の課題	区内の21防災拠点のうち、これまで安否確認訓練を行った実績は3拠点のため、今後実施する拠点を拡大していく必要があります。また、マンション管理組合等への名簿提供も継続して行っていく必要があります。				
対応策	防災課と連携し、防災拠点運営委員会において安否確認訓練の案内等を行い、訓練の実施を促していきます。また、マンション管理組合等を対象に引き続きワークショップを実施し、名簿提供による避難体制づくりを支援していきます。				



## 目標3 認知症ケアの推進

### (1) 認知症の相談・支援体制の充実

事業名	認知症サポート電話およびおとしより相談センターにおける相談支援			所管課	介護保険課
事業目的・内容	匿名でも相談が可能な認知症サポート電話やおとしより相談センターの認知症地域支援推進員による相談などについて、区のホームページや「区のおしらせ」、認知症に関するチラシ・リーフレット等に掲載するとともに、窓口や講座で案内し、周知を強化します。これにより、認知症の不安がある本人や家族が相談しやすい環境づくりに努め、具体的なアドバイスや訪問などによる支援につなげていきます。				
令和3年度事業目標(目標値)	<相談窓口等の相談件数>3,300件				
事業実績 実施内容 取組の成果	<p><b>【実績】</b> 相談窓口等の相談件数 2,907件</p> <p><b>【内容】</b> 実績内訳は、認知症サポート電話878件、おとしより相談センター2,029件でした。おとしより相談センターの認知症地域支援推進員と介護保険課の認知症サポート電話担当者間の情報共有のための連絡会を開き、連携を図りました。また、令和3年6月に認知症啓発パンフレット「知って安心認知症」を全高齢者世帯に配布しました。</p>				
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない	
評価の理由	目標値の8割は達成できたため。				
今後の課題	本人・家族が気軽に地域で相談できる認知症サポート電話や相談窓口の周知をさらに強化する必要があります。				
対応策	認知症カフェや相談窓口を記載した認知症啓発パンフレットを配布・活用し、早期発見・早期対応につながるよう引き続き相談窓口の普及を図ります。また、今後も認知症地域支援推進員と認知症サポート電話担当者間の情報共有のための連絡会を開催し、引き続き連携を強化していきます。				
添付資料	認知症啓発パンフレット「知って安心認知症」				

(3) 認知症の人を地域で支える体制の推進

事業名	認知症サポーター養成講座の開催	所管課	介護保険課	
事業目的・内容	認知症の正しい知識の啓発を幅広い年代に対して積極的に行い、地域全体が認知症の方や家族に対してサポートする環境づくりを進めます。講座を児童館などで開催し、子どもやその家族を対象に加えるとともにオンラインで実施するなど、対象者を一層広げてサポーターの活躍を促していきます。また、ステップアップ講座等を通じて、認知症サポーターが地域の見守り活動や認知症カフェ運営などの活動に参画することを促していきます。講座の講師役であるキャラバン・メイトの活動を支援していきます。			
令和3年度事業目標(目標値)	<平成18(2006)年度からの延べ認知症サポーター数>17,000人			
事業実績 実施内容 取組の成果	<p><b>【実績】</b> 認知症サポーター数 延べ17,758人</p> <p><b>【内容】</b> 人数を制限し、人との間隔を開けるなどの感染防止対策を行い、おとしより相談センターから講師を派遣して実施しました。また、キャラバン・メイトの交流会を実施しました。</p>			
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない
評価の理由	目標値を達成したため。			
今後の課題	講座回数増加により講師となるおとしより相談センター職員の負担が増えているため、区民で認知症サポーター養成講座の講師としての資格をもつキャラバン・メイトによる講座の拡大が必要です。			
対応策	おとしより相談センター職員以外の講師として区民のキャラバン・メイトによる講座の拡大を図るとともに、キャラバン・メイト同士の交流会を行っていきます。			

(3) 認知症の人を地域で支える体制の推進

事業名	行方不明高齢者検索ネットワークの構築			所管課	介護保険課
事業目的・内容	行方不明高齢者の早期発見、事故の未然防止のために、区が行方不明高齢者の情報を共有できるICT(情報通信技術)を活用し、見守り活動団体・見守り協定締結事業者や認知症サポーター等と連携して検索できるネットワークを構築します。				
令和3年度事業目標(目標値)	検討				
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域見守り活動団体数 26団体</li> <li>・見守り協定締結事業者数 24事業者</li> <li>・認知症サポーター数 延べ17,758人</li> </ul> <p>【内容】</p> <p>令和4年度の実施に向けて、行方不明者の情報を「ちゅうおう安全・安心メール」により配信できるよう、検討及び関係部署等との調整を行い、準備をしました。</p>				
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない	
評価の理由	令和4年度に実施できるよう、検討及び調整を行い、準備ができたため。				
今後の課題	行方不明高齢者の情報を共有して発見につなげるため、事業を周知し、「ちゅうおう安全・安心メール」に登録してもらい、できるだけ多くの方に協力者となっていただく必要があります。				
対応策	各種講座の際に案内チラシを配布するなどして事業の周知を図ります。				
添付資料	行方不明高齢者検索ネットワークパンフレット				

(4) 権利擁護の推進

事業名	社会貢献型後見人等の養成および受任促進			所管課	福祉保健部管理課
事業目的・内容	社会貢献型後見人等候補者を養成するため、養成研修、フォローアップ研修等を実施しています。また、養成研修を修了した社会貢献型後見人等候補者の活動の機会を増やすため、後見等の受任を促進していきます。				
令和3年度事業目標(目標値)	<平成25(2013)年度からの延べ受任件数>11件				
事業実績 実施内容 取組の成果	<p><b>【実績】</b> 平成25年度からの延べ受任件数 11件</p> <p><b>【内容】</b> 地域における成年後見制度の担い手を確保するため、港区との合同実施により社会貢献型後見人候補者を4名養成するとともに、候補者としての資質向上と後見活動メンバーのフォローアップを目的として、「後見活動メンバーフォローアップ研修」を開催しました。また、令和3年度から新たに「中央区・港区合同フォローアップ研修&amp;情報交換会」を開催しました。</p>				
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない	
評価の理由	目標値を達成したため。				
今後の課題	令和3年度の事業目標は達成したが、社会貢献型後見人等の受任促進に向けて、取り組んでいく必要があります。				
対応策	社会貢献型後見人等候補者について、引き続きフォローアップ研修等を実施して候補者のスキルアップやモチベーションを確保するとともに、受任者調整機能を強化するなど受任促進に取り組みます。				

## 目標4 在宅療養の支援の推進

### (2) 医療と介護の連携による在宅療養支援の推進

事業名	「医療と介護の関係者の交流の場」の開催		所管課	介護保険課
事業目的・内容	在宅医療を受け持つ医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師とケアマネジャーや介護サービス従事者の交流の場として、多職種連携研修を開催し、顔の見える関係づくりの場を提供していきます。これにより、医療と介護の連携をよりスムーズにして、安心して在宅療養を継続することができるようにしていきます。			
令和3年度事業目標(目標値)	<開催回数>6回 <平成23(2011)年度からの延べ参加者数>1,050人			
事業実績 実施内容 取組の成果	<b>【実績】</b> 開催回数 6回 平成23年度からの延べ参加人数 1,063人  <b>【内容】</b> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、参加人数の制限および講義を中心としてグループワークの時間を短縮したり、オンラインを活用して開催し、引き続き医療と介護の交流につなげることができました。			
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない
評価の理由	目標値を達成したため。			
今後の課題	医療機関と介護サービス事業所がお互いの顔の見える関係づくりができる場としての交流会を、さらに話がしやすい工夫を図ることにより、医療と介護の連携をスムーズにしていく必要があります。			
対応策	区主催だけでなく日常生活圏域ごとに交流会を開催することにより、より身近な地域で少人数での交流の場を増やし、事例検討などを行うことで、在宅療養を支える医療と介護の連携を進めていきます。			

(3)在宅療養の普及・啓発

事業名	区民向け在宅療養支援シンポジウムおよび講演会の開催			所管課	介護保険課
事業目的・内容	区民を対象としたシンポジウムや講演会を開催することにより、さらに多くの区民が在宅療養や在宅での看取りなどに関するイメージを持ち、自分のこととして考えてもらえるようにしていきます。				
令和3年度事業目標(目標値)	<開催回数>2回 <平成23(2011)年度からの延べ参加者数>1,350人				
事業実績 実施内容 取組の成果	<p><b>【実績】</b>          開催回数 2回(在宅療養支援講演会1回、歯科と薬の講演会1回)          平成23年度からの延べ参加者数 1,414人</p> <p><b>【内容】</b>          新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、シンポジウムを講演会に変更し、歯科と薬の講演会とも人数を制限のうえ、同内容を2回に分けて講演会を開催しました。          申込みの利便性を図るため、新たにメールによる申込み受付を始めました。</p>				
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない	
評価の理由	目標値を達成したため。				
今後の課題	在宅療養を幅広い世代に知ってもらい、自宅で暮らし続けるための医療・介護・生活支援サービス等を自ら選択していく意識を高めてもらえるようにテーマを選択していく必要があります。在宅療養における口腔ケアや薬の管理等の重要性にさらに関心を持ってもらうため、歯科・薬剤講演会への区民の参加を増やす必要があります。				
対応策	関心の高いテーマを設定するなど内容の充実を図る一方で、敬老大会等のイベントでの案内配布や区ホームページなどを通じて、引き続き積極的な周知を行っていきます。				
添付資料	在宅療養支援講演会 開催チラシ 歯科と薬の講演会 開催チラシ				

## 目標5 介護サービスの充実と人材確保の推進

### (2)介護保険サービスの質の向上

事業名	介護給付の適正化			所管課	介護保険課
事業目的・内容	専門員によるケアプラン点検の実施結果について、事業者連絡会や事業者支援関連システム(ケア倶楽部)で周知・共有し、第5期中央区介護給付適正化計画(資料編128～132ページに記載)に基づく適正化事業に積極的に取り組んでいきます。受給者が真に必要なサービス、事業者が適切に提供するよう促し、適切なサービスの確保を図ることにより、資源や費用の効率化につなげていきます。				
令和3年度事業目標(目標値)	<ケアプラン点検実施件数>12件				
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】 7件</p> <p>【内容】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、面談によるケアプラン点検を中止し、書面によるケアプラン点検を4カ所7件実施しました。</p>				
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない	
評価の理由	目標値を達成できなかったため。				
今後の課題	ケアプラン点検を初めて受ける事業所について、書面点検では面談と比べて、点検者によるヒアリングが十分に出来ないため、適切にアドバイスすることが難しくなっています。また、点検結果に問題のあった事業所に対して、定期的に点検を実施する必要があります。				
対応策	感染拡大状況を見極めながら面談によるケアプラン点検を再開し、点検結果について問題のあった事業所については、できるだけ間隔を空けずに再点検を実施していきます。併せて、ケアプラン点検の効果的な実施方法について検討を進めていきます。				

(2)介護保険サービスの質の向上

事業名	資質向上型地域ケア会議の開催			所管課	介護保険課
事業目的・内容	ケアマネジャーの資質向上をはかるために個別事例についてのケアプランの検討を行う地域ケア会議を日常生活圏域ごとに開催するとともに、個別事例について多職種で検討することにより、適切で効果的なケアプランの作成につなげていきます。				
令和3年度事業目標(目標値)	<開催回数>6回				
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 6回</li> <li>・延べ参加者数 34人</li> </ul> <p>【内容】</p> <p>日常生活圏域ごとにケアプランに関し、作業療法士等専門職のアドバイスを受け検討を行いました。</p>				
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない	
評価の理由	目標値を達成したため。				
今後の課題	地域ケア会議での検討を通じて、自立支援、介護予防または重度化防止の観点から多職種の専門職によるアドバイスをケアプランに取り入れる必要があります。				
対応策	引き続き、資質向上型地域ケア会議を日常生活圏域ごとに2回ずつ開催します。自立支援、介護予防が重要となる要支援から要介護に区分変更したケアプランについて、リハビリ、栄養、口腔衛生や介護等多職種の専門職の参加による地域ケア会議を行い、会議後のモニタリングも行います。				



(3)介護人材の確保

事業名	区独自の「介護事業所の雇用・育成支援」の実施		所管課	介護保険課
事業目的・内容	区内介護事業者における介護職員不足に対応するため、介護職員初任者研修の受講に加えて、介護事業所に就職するまでをあっせんする介護人材確保支援事業を実施するほか、合同就職相談・面接会の開催や宿舍借上支援事業などにより、新たな介護職員の雇用の創出・定着につなげていきます。			
令和3年度事業目標(目標値)	<雇用人数>20人			
事業実績 実施内容 取組の成果	<p><b>【実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用人数 20人</li> <li>・参加者数 41人（介護人材確保支援事業16人 合同就職相談・面接会25人）</li> <li>・参加事業者数 55事業所（介護人材確保支援事業45事業所 合同就職相談・面接会10事業所）</li> <li>・宿舍借上げ数 3戸</li> </ul> <p><b>【内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①介護人材確保支援事業・・・介護職員初任者研修の受講に加えて、介護事業所に就職するまでを斡旋し、13人の就職につなげることができました。</li> <li>②合同就職相談・面接会・・・区内介護事業所の企業PRと就職相談および採用面接を行う相談・面接会を実施し、1人の就職につなげることができました。</li> <li>③宿舍借上支援事業・・・区内介護事業所が介護職員等のために借り上げた社宅利用型借上住宅使用料の7/8を補助する制度について周知した結果、令和3年度中に3戸のうち空いていた2戸について入居が始まり、計6人の介護職員の確保・定着につながりました。</li> </ol>			
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない
評価の理由	目標値を達成したため。			
今後の課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>①参加者のニーズに対して募集の枠が少ないのが現状です。</li> <li>②参加者をどのように集客するかを検討が必要です。</li> <li>③事業所のニーズを的確に把握・分析することが必要です。</li> </ol>			
対応策	<ol style="list-style-type: none"> <li>①事業の募集定員の枠が限られているため、定員を超えるニーズにも対応する必要があります。</li> <li>②参加者のさらなる増加に向け、事業者にPRシートを作成してもらい、事前に事業ホームページに掲載することで、参加希望者に対し事業者の魅力の周知を図ります。</li> <li>③事業所からの相談状況に応じて借上戸数を増やす等の検討をしていきます。</li> </ol>			
添付資料	中央区介護人材確保支援事業 案内チラシ 中央区介護職合同就職相談・面接会 開催チラシ			

## 目標6 安心して生活できる住まいの確保の支援

### (1) 安心・安全な住まいの整備促進

事業名	認知症高齢者グループホーム等の供給誘導	所管課	高齢者福祉課・ 介護保険課																				
事業目的・ 内容	認知症高齢者グループホームや特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などの施設サービスや、看護小規模多機能型居宅介護などについては、地域の人口動向や区民ニーズを的確に見極めた上で、再開発や既存施設の転用などの機会を捉えながら、民間活力を活用し供給を誘導していきます。																						
令和3年度 事業目標 (目標値)	供給誘導																						
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申込者数、新規入所者数及び年度末入所者数</li> </ul> <p>○区内特別養護老人ホーム(地域密着型を含む。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定員</th> <th>新規申込者数</th> <th>新規入所者数</th> <th>年度末入所者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>358</td> <td>217</td> <td>160</td> <td>346</td> </tr> </tbody> </table> <p>○区内認知症高齢者グループホーム</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定員</th> <th>申込者数(月平均)</th> <th>新規入所者数</th> <th>年度末入所者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>81</td> <td>103</td> <td>34</td> <td>76</td> </tr> </tbody> </table> <p>○区内介護老人保健施設 <small>※申込者数(月平均)は延べ人数(1人あたり2、3施設への重複申込有)</small></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定員</th> <th>年度末入所者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80</td> <td>68</td> </tr> </tbody> </table> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再開発等の施設整備検討の機会が得られず、供給誘導には結びつかなかったものの、既存の施設において、運営事業者と連携をとりながら建物・設備等の維持管理を適切に行い、安全かつ安定した施設運営を支援しました。</li> </ul>			定員	新規申込者数	新規入所者数	年度末入所者数	358	217	160	346	定員	申込者数(月平均)	新規入所者数	年度末入所者数	81	103	34	76	定員	年度末入所者数	80	68
定員	新規申込者数	新規入所者数	年度末入所者数																				
358	217	160	346																				
定員	申込者数(月平均)	新規入所者数	年度末入所者数																				
81	103	34	76																				
定員	年度末入所者数																						
80	68																						
目標達成度 (4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない																			
評価の理由	再開発などの機会を捉えながら施設整備を検討するため課題整理等に取り組んだが、機会を得られず供給誘導に結びつかなかったため。																						
今後の課題	既存施設の介護サービスの質の向上に努め、安全かつ安定した施設運営を引き続き支援していくとともに、介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けられるように住まいを確保する検討を進めていく必要があります。																						
対応策	再開発や区施設の改築の機会を捉えて施設の整備を推進するなど、高齢者が安心して住み続けられるまちの実現に向け、総合的に住環境や生活環境の整備に努めていきます。																						